

U.S. Indicators

発表日: 2020年5月18日(月)

米國小売売上高はロックダウンで激減

～4月は外出制限のもと無店舗販売だけ堅調維持～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治 (TEL: 03-5221-5001)

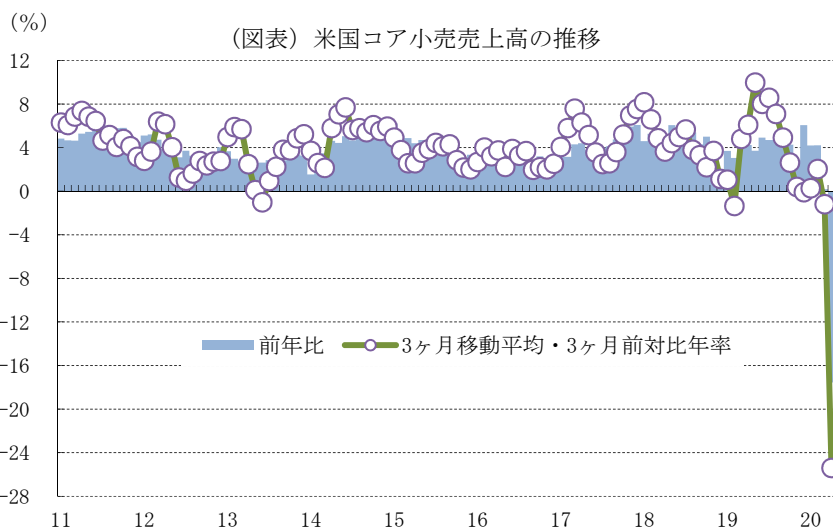
米国では、3月以降の新型コロナウイルス感染の急激な拡大を背景に、州・都市別に異なるタイミングで感染拡大を抑制するための外出制限などロックダウンが3月中旬から行われた。これを受け、生活必需品を中心に買いだめの動きがでた一方、不要不急の耐久財や外食、余暇サービスなどの消費需要は急激な縮小を余儀なくされている。

4月の小売・飲食サービス売上高（速報値、季節調整値）は、前月比▲16.4%（前月同▲8.3%）と2カ月連続で過去最大の減少幅を更新した。減少幅は市場予想中央値の前月比▲12.0%を上回り、3月の約2倍の減少となった。また、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比▲17.2%（前月同▲4.0%）と過去最大の減少幅を更新した。減少幅は市場予想中央値（前月比▲8.5%）の2倍強、3月の4倍を上回る減少となった。

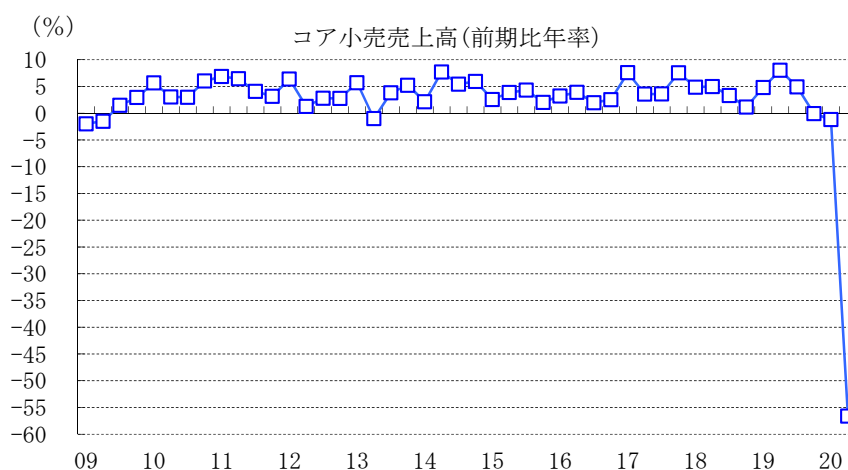
小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は、前月比▲17.2%（前月同▲2.9%）と過去最大の減少幅を更新した。コア小売売上高の基調をみても、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で4月に▲25.4%（3月▲1.2%）とマイナス幅を拡大した。また、4月は1-3月期比年率▲56.6%と1-3月期の前期比年率▲1.2%（速報同▲2.5%）、10-12月期の前期比年率▲0.1%（速報同▲0.6%）からマイナス幅を大幅に拡大しており、4-6月期の個人消費の急減を示している。

4月の主要な13業態別の小売売上高をみると、外出制限などによって、無店舗小売が加速した。一方、家具、家電、建設資材店、ガソリンスタンド、衣料品、スポーツ用品・本・趣味用品、その他小売が減少幅を拡大した。食料などの生活必需品や医薬品を販売している食品・飲料、百貨店など一般小売、薬局が買いだめの動きで3月に上昇した反動によって減少に転じたほか、営業停止によって飲食店は大幅なマイナスを続けた。また、不要不急の商品を販売している自動車・同部品は減少を続けたが、ゼロ金利ローンなどの販促強化によって減少幅を縮小した。

4月小売売上高（前月比▲16.45%）の主要13項目の寄与度をみると、押し上げ寄与となった業態は、無店舗小売+1.63%のみ。一方、押し下げ寄与となった業態は、大きい順に百貨店を含む一般小売▲2.61%、飲食店▲2.36%、食品・飲料▲2.30%、自動車・同部品▲2.10%、ガソリンスタンド▲1.75%、薬局▲1.00%、家具▲0.48%、その他小売り▲0.47%、衣料品▲0.46%、家電▲0.42%、スポーツ用品・本・趣味用品▲0.32%、建設資材▲0.28%となった。



(出所) 米商務省



(出所) 米商務省データより作成。

(注) コア小売=建設資材・ガソリン・自動車を除いた小売売上高

(四半期)

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

		除く車	耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
			自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン		
19/04	+0.5	(+3.9)	+0.8	▲0.3	▲0.6	+0.7	▲0.8	+0.9	▲0.4	+2.1
19/05	+0.4	(+3.0)	+0.3	▲0.0	+0.5	▲0.1	+0.7	+0.4	▲0.4	▲1.1
19/06	+0.4	(+3.6)	+0.4	+0.4	+0.4	+0.1	▲0.4	+0.2	+0.4	▲2.1
19/07	+0.6	(+3.6)	+0.7	+0.4	+0.2	+0.0	+0.8	+0.7	+0.7	+1.5
19/08	+0.4	(+4.3)	+0.1	+1.8	+1.9	+0.3	▲0.4	▲0.1	▲0.6	▲1.4
19/09	▲0.4	(+4.0)	▲0.3	▲1.0	▲1.1	+1.2	+0.4	▲0.4	▲0.1	▲0.5
19/10	+0.5	(+3.3)	+0.4	+0.6	+0.9	▲0.8	▲0.6	+0.6	▲0.4	+1.6
19/11	+0.0	(+3.3)	▲0.3	+1.1	+1.5	+0.2	▲0.4	▲0.3	▲0.6	+0.6
19/12	+0.1	(+5.6)	+0.5	▲0.8	▲1.6	▲1.9	+0.5	+0.4	+2.8	+1.2
20/01	+0.8	(+4.9)	+0.8	+1.5	+0.8	+4.0	+0.8	+0.4	▲0.6	▲0.6
20/02	▲0.4	(+4.5)	▲0.5	▲0.7	▲0.4	▲0.1	▲1.3	▲0.3	▲1.6	▲2.9
20/03	▲8.3	(▲5.7)	▲4.0	▲19.3	▲25.7	▲21.1	▲11.0	+1.9	▲49.4	▲16.5
20/04	▲16.4	(▲21.6)	▲17.2	▲15.7	▲12.4	▲58.7	▲60.6	▲14.8	▲78.8	▲28.8

(注) 数字は季調済前月比。但し、()内は前年同月比(未季調)。

*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。